

公共経済学(Public Economics)

担当教員名	浦上 拓也	
学科・専攻、科目詳細	都市システム工学科 5年 前期 1単位 講義	
学科のカリキュラム表	専門科目 選択科目	
共生システム工学の科目構成表	基礎工学科目 社会技術系	
学習・教育目標	共生システム工学	D-2(100%)
	JABEE基準1(1)	(d)
科目的概要	<p>近年、公共部門の運営方法に対し批判が多い。しかしながら、経済社会において、消費者や企業といった民間部門に加えて、政府などの公共部門の存在意義は大きい。とりわけ、都市計画や社会資本整備などの分野においては、公共部門は重要な役割を果たしている。本講義では、公共部門の役割や行動について経済学的な視点から講義を行う。</p>	
テキスト(参考文献)	<p>特に指定しない。必要に応じて適宜資料を配布する。 参考文献は、奥野信宏(2008)『公共経済学』第3版、岩波書店。</p>	
履修上の注意	<p>公共経済学は公共セクターを主な分析対象とするので、都市システム工学を専攻する学生にとっては重要な科目である。経済学の知識を前提とせず講義するので、積極的に講義に参加してもらいたい。</p>	
科目的達成目標	<p>第1に、経済学的なものの考え方を理解する。第2に、日本の公共部門の種類、役割、行動様式について理解する。第3に、電気、ガス、水道などの公益事業に対する政府の規制の根拠を理解する。第4に、公共投資の経済効果や問題点、そして今後の課題について理解する。第5に、公共交通の現状と運営について理解する。</p>	
自己学習	<p>講義中に出された課題は必ず取り組むこと。また、日頃から新聞に掲載されている財政や政府に関する記事を読むこと。</p>	
目標達成度(成績) の評価方法と基準	合格の対象としない欠席条件(割合)	1/3以上の欠課
	<p>成績評価は、中間試験40%，期末試験50%，授業中の課題10%で評価する。 60%以上達成したものを合格とする。</p>	
連絡先	urakami@bus.kindai.ac.jp	

授業の計画・内容	
第1週 イントロダクション	経済学とは何か、公共経済学とは何か、経済学的なものの考え方とは何かについて講義する。
第2週 数学補論	経済学的な数学の概念（数式の展開、図解）について講義する。
第3週 市場経済I：需要と供給	需要曲線と供給曲線について講義する。
第4週 市場経済II：市場均衡	市場均衡と効率性について講義する。
第5週 公共サービスの供給I：公共財	公共財の定義と性質について講義する。
第6週 公共サービスの供給II：公共財の最適供給	公共財の社会的に望ましい供給水準の求め方について講義する。
第7週 費用便益分析	道路や公共施設を整備するか否かを評価するための費用便益分析の方法について講義する。
第8週 中間試験	第1週から第7週の内容について試験する。
第9週 公益事業	電気・ガス・水道・鉄道などの公益事業について、他の産業の異なる特徴について講義する。
第10週 自然独占I：性質	独占企業の行動と自然独占の性質について講義する。
第11週 自然独占II：規制の根拠	公益事業がなぜ政府から規制をされるのかについて講義する。
第12週 規制政策	政府が企業に行う実際の規制政策の内容と、近年進められている規制緩和について講義する。
第13週 公共投資と社会資本	道路、港湾、空港などの社会資本整備の経済効果や投資の地域間配分について講義する。
第14週 公共交通	公共交通の存在意義、公営交通の経営問題について講義する。特に、明石市営バスの民間移譲の例があるように、公営企業の民間移譲や民営化などの問題についても講義する。
第15週 講義のまとめ	本講義のまとめを行う。
期末試験	